

協働パイロット事業 (H26) 企画提案書

団体名：NPO法人スリーピース

1. 事業の名称

みんなで盛り上げよう『夜の動物園』

2. 事業方針 (市民ニーズや協働で取り組む意義を踏まえてください)

～昨年度より日本平動物園開催『夜の動物園』が復活～

昨年度より復活した日本平動物園開催の『夜の動物園』は、普段見ることのできない動物達の夜間の生態が楽しめるだけでなく、月明かりの幻想的な雰囲気の中で、大人も子どもも楽しめる素晴らしいイベントです。昨年度は復活初年度ということで、当法人だけでイベントテントのお手伝いを致しましたが、今年度は、市内幼・保育園を通じてより多くのご家庭に働きかけ、ただ来場頂けだけでなく、自らが参加して頂くイベントとして盛り上げていきたいと思ひます。

～参加型イベントにすることで、日本平動物園をもっと身近な存在に～

あまり認知されてははいないけれど有益な情報を、園児を持つご家庭に確実にお届けする。これが当法人の最も得意とする分野です。特に夜の動物園は『近場』で且つ『安価』でありながら、長くご家族の記憶に残る素晴らしいイベントだと思ひます。だからこそ、当法人は日本平動物園様と連携を取りながら、より多くのご家庭に働きかけ、告知⇒募集⇒参加という流れを作り、自らが参加して頂く市民参加型のイベントにし、日本平動物園をもっと身近な存在に感じてほしいと考えています。

～動物園来場者増・満足度UPを目指して～

当日の来場者はもちろんのこと、その後も日本平動物園へ足を運んでもらえるよう、当法人が発行する「こども新聞」を通して、日本平動物園の魅力存分に伝え、当日『夜の動物園』に関わったスタッフ・イベント参加者・来場者のすべてが笑顔になっていただき、また来たいね！！と言っただけ、そんな市民参加型のイベントにしていきたいと考えております。この事業を契機に次年度に向けて、更に市民に根差したイベントとなることを目指していきます。

3. 協働にあたって提案団体が果たす役割及び行政に望むこと（市の役割）

■当法人の役割

1. こども新聞『よるのどうぶつえん』の制作
2. 日本平動物園との渉外業務
3. 市内幼・保育園への配布と主旨説明による募集告知
4. 事務局（募集团体の管理と交渉業務）
5. 夜の動物園イベントテントの運営（含：似顔絵持参家族への対応）
6. 報告書の作成（次年度に向けて）

■行政へのお願い事項

1. 子育て支援団体連絡会を通じたスタッフ募集の告知
2. 夜の動物園開催の告知
3. のぼり旗の設置

団体名：NPO法人スリーピース

4. 成果目標（できる限り具体的に表現してください）

以下の4点を成果目標と致します。

- イベントブース来場者数：1,500名（3日間合計／H25年度実績 506名）
- むりえ：500枚（15,000枚配布の3.3%）
- イベント参加団体応募数：10組
- イベントスタッフ応募者数：20名

5. 事業計画

昨年度より復活した日本平動物園開催の『夜の動物園』は、普段見ることのできない動物達の夜間の生態が楽しめるだけでなく、月明かりの幻想的な雰囲気の中で、大人も子どもも楽しめる素晴らしいイベントです。昨年度は復活初年度ということで、当法人だけでイベントテントのお手伝いを致しましたが、今年度は、市内幼・保育園を通じてより多くのご家庭に働きかけ、来場頂くだけでなく、自らが参加して頂くイベントとして盛り上げていきたいと思っております。

■計画1：こども新聞『よるのどうぶつえん』制作・発行・配布

- ・日本平動物園と協力し、当法人で発行しておりますこども新聞の『よるのどうぶつえん号』を15,000部制作、市内105園の幼・保育園を通じて各ご家庭に配布頂き、①開催の案内のほか、②ぬりえの募集（当日持参者に安全に園内をご覧頂くための光るプレスレットを進呈）③当日のイベントテント参加団体の募集④当日の運営スタッフの募集を行います。

■計画2：告知のぼり旗の設置

- ・夏休みのスタートに合わせ、日本平動物園エントランス前に『夜の動物園開催』のオリジナルのぼり旗を10本設置します。

■計画3：参加希望者説明会

- ・イベント当日の参加希望団体及び運営スタッフの希望者に対して説明会を実施し、日本平動物園の意向を説明、ヒアリングにより参加者を確定します。

■計画4：イベント当日『夜の動物園 第1回8月中旬／第2回8月下旬／第3回9月初旬』

- ①ぬりえ持参者対応：ぬりえと引き換えに光るプレスレットを進呈します。
- ②ぬりえ展示：回収したぬりえをファイルにまとめ、展示します。
- ③イベントテントA：こども向けゲームブース『虫むしストップ』を運営します。
- ④イベントテントB：確定した団体主導によるブースを運営します。
- ⑤アンバサダー：来場者の誘導や記念撮影のお手伝いなどを行います。

■計画5：次年度に向けた報告書の作成

イベント終了後、次年度に向けた反省会を実施し、夜の動物園が、更に市民に根差したイベントとなるよう報告書としてまとめます。また、応募頂いたぬりえのうち、皆で優秀賞を選定し、記念品として、ぬりえをモチーフとしたプリントクッキーを制作、日本平動物園より制作した園児に進呈して頂きます。

6. スケジュール

- | | |
|------|--|
| 6月中旬 | 夜の動物園を盛り上げよう実行委員会発足（当法人内）
日本平動物園と制作内容協議 |
| 7月初旬 | こども新聞制作開始
こども新聞配布（静岡市内幼・保育園を經由して書く家庭へ）
イベント参加団体及びイベントスタッフ募集開始
ぬりえ募集開始 |
| 7月下旬 | のぼり旗設置（日本平動物園エントランス付近） |
| 8月初旬 | 参加希望者説明会 |
| 8月中旬 | 夜の動物園（第1回） |
| 8月下旬 | 夜の動物園（第2回） |
| 9月初旬 | 夜の動物園（第3回） |
| 9月中旬 | まとめ（反省会／報告書作成） |
| 9月下旬 | 報告書提出／優秀賞発表 |

7. 実施体制および主要スタッフの経歴

■企画・統括

小林 敏史（理事長／会社役員）

17年間の教育機関勤務を経て、プロダクションを起業。H18年、教育機関での経験を活かし、子どもの健全育成に関するNPO法人を設立。以降、主として静岡市内の幼・保育園や行政及び地元企業と連携を図りながら、情報の相互共有を推進している。

■デザイン

吉澤 彩乃（デザイナー）

デザイン系学科を卒業後、複数の企業の社内デザイナーとして活躍。平成24年より当法人に参加。情誌のデザインの他、主に幼児及びお母さん向けのツールデザインを担当。

■渉外・配布

林 謙二

大学卒業後、柔道整復師資格を取得し、現在は整骨院を経営。仕事柄、地域に根差した活動に数多く参加し、幅広い交友関係を持つ。平成23年当法人参加後は、主として地域団体や教育機関とのパイプ役を担当。

齊藤 碧（渉外）

大学入学当時から卒業まで、マスメディアにてADを担当。現在は営業職。平成25年度より当法人に参加。経験を活かし、教育機関との調整や配布業務を担当。

■イベント運営

小林 里美

主婦。静岡市内のライオンズ事務局に勤務していたことから、ボランティア活動に関心を持ち、当法人に参加。子育てやPTAの経験を活かし、子ども関連のイベントの運営、管理を担当。

8. 特にアピールしたいこと（専門性、独自性、先駆性、実績など）

■専門性

1. 媒体誌の制作

当法人では、今回ご提案の『こども新聞』をはじめ、既に年間数種類の媒体制作の実績があることから、昨年度はその実績を評価頂き、静岡県福祉広報紙コンクールにおいて奨励賞を頂きました。

2. 独自性

当法人設立以来、行政機関及び静岡市の私立幼稚園協会様、保育園連合会様とは常に連携をとっており、各媒体の発行・配布についても直接配布という手法を主としております。幼児向けに発行されております数多の発行物の中でも、こうした方法による配布は大変に特別なものであると自負しております。

3. 先駆性

あまり認知されてはいないけれど有益な情報を、園児を持つご家庭に確実にお届けする。これが当法人の最も得意とする分野です。特に夜の動物園は『近場』で、且つ『安価』でありながら、長くご家族の記憶に残る素晴らしいイベントだと思います。だからこそ、告知⇒募集⇒参加という流れの中で、ぜひ“市民参加型”のイベントとして定着する一助となるような企画にしたいと考えます。

4. 実績

当法人は、昨年度、日本平動物園様からの依頼を頂き、夜の動物園においてイベントブースのお手伝いをさせて頂きました。昨年は時間も予算もなく、文字通り手作りでのお手伝いでしたが、今年はその経験を活かしつつ、数多くの保護者様と楽しいイベントを作りたいと考えます。

協働パイロット事業 (H26) 見積書

団体名：NPO法人スリーピース

企画のタイトル：みんなで盛り上げよう『夜の動物園』

項目	金額	説明
■こども新聞	135,000	15000部/4p/フルカラー/105園配布
■告知用のぼり旗	20,000	10本
■イベント運営費	50,000	有志団体イベント 10,000円×3日 メインイベント 20,000円
■参加ごほうび	10,000	500本
■スタッフ人件費	67,500	900円×5人×5時間×3日
■事務備品	3,000	ぬりえ展示用ファイル等
■会議費	9,000	事前説明会/反省会 150円×30人×2日
■賞品代	5,000	プリントクッキー
小計 A	299,500	
消費税 B = A × 0.08	23,960	
合計 A + B	323,460	

◎実費弁償契約の希望の有無

有

無

※ 参加費の徴収、物品の販売、提案団体の自己負担等、委託料以外の財源がある場合

収入見込み額	金額	主な用途